

試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2022-1007-1	利用 形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象:全ゲノム解析済み参加者 約50,000人 試料:なし 情報:年齢、性別、末梢血データ、疾患情報、全ゲノム解析情報、 生化学データ、うつ尺度、喫煙習慣、食生活	
主たる研究機関	国立がん研究センター			分担 研究機関	東北メディカル・メガバンク機構	
研究題目	クローン性造血(CHIP)を伴う遺伝子変異のゲノムワイドな同定による「日本人CHIPパネル」の作成およびそれを用いた解析			研究期間	2022年8月～2024年3月	
TMM 実施責任者	大根田 絹子	所属	東北メディカル・メガバンク機構		職位	教授
共同研究機関 実施責任者	池 成基	所属	国立がん研究センター東病院		職位	血液腫瘍科/トランスレー ショナルインフォマティクス 分野
研究目的と意義	Clonal hematopoiesis of indeterminate potential(CHIP)とは、白血病などの血液腫瘍でしばしばみられる特定の遺伝子変異が、健常人においてもみつかるといわれる現象を指します。CHIPは血液疾患や糖尿病、心臓病などさまざまな病気のリスクを増加させることが知られており、将来的にCHIPを調べることが医療や健康増進に役立つかもしれませんが、日本人のCHIPの特徴はまだ十分に解明されておらず、正確な検出が難しくなっています。本研究では日本人におけるCHIPの特徴を明らかにすることで、効率的なCHIP検出を可能にする素地づくりを目的としています。					
研究計画概要	東北メディカル・メガバンク機構の保有するデータベースから全ゲノム解析情報や年齢、性別、末梢血データ、疾患情報を参照します。また、血液腫瘍患者の情報として、HM-SCREEN-Japan01およびHM-SCREEN-Japan02試験参加者の遺伝子情報を参照します。					
期待される成果	日本人におけるCHIPの特徴を明らかにすることで、効率的なCHIP検出を可能にする素地となることが期待されます。					
これまでの倫理 審査等の経過	2022年9月 国立がん研究センター倫理委員会承認(中央一括審査)					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	研究の実施にあたっては、人を対象とする生命科学・医学系研究の倫理指針、別途締結する研究契約を遵守して遂行します。 利用する試料・情報は、スーパーコンピュータ内において、特定の関係者以外がアクセスできない状態で解析を行います。					
その他特記事項	研究助成金、がん研究センター研究費、AMED補助事業(生命科学・創薬研究支援基盤事業(BINDS))					

※公開日 令和4年11月4日